



期待できる効果

ストレス対策

収量・サイズの向上

糖度の向上

▼ 含有成分量

可給態リン酸 (P_2O_5)	31%
水溶性カリウム (K_2O)	50%

特長

- ・最先端の技術により、植物が吸収しやすいように工夫されたカリウムとリン酸を高効率で供給。
- ・ストレスを軽減し、細胞分裂を促すことで光合成に寄与。糖度アップや、収量アップに貢献。
- ・抗酸化物質の生成を促進するので、環境ストレスからくる酸化ストレスを軽減し、植物の代謝・生育を高める。

ポイント解説

カリウムはストレス対応に最も重要な栄養素ですが、流亡しやすい欠点があります。リン酸は他の成分と結合しやすく、結合するとリン酸そのものだけではなく他の栄養素も吸収できなくなります。高温・低温・乾燥・水害などの環境ストレスは、植物の細胞分裂を妨げ、健全な成長を阻害します。

施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

ストレス対策	100~350 g/10アール	1~2週間間隔
サイズ向上	100~350 g/10アール	結実後1~3週間間隔
糖度向上	100~350 g/10アール	収穫前から2~4回

顆粒水和材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500L、本製品250gでご使用の場合、希釈倍率は2,000倍となります。

荷姿： □9kg □1kg

GROWING BEYOND

ダイカップ

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
-	31	50	-

関連用語

可溶性炭素化合物

非常に広い範囲で土壌微生物の働きを促し、土壌構造を安定化することで土壌中の環境を一定に保つ効果を持つ。

キレーション

2価の陽イオンの栄養素をアミノ酸、フミン酸等と結合させることにより、土壌中において他の成分との望ましくない結合を回避する効果を持つ。

コンプレクシング

陰イオンまたは1価の陽イオンの栄養素をアミノ酸、フミン酸等と結合させることにより土壌中において他の栄養素との望ましくない結合を回避し吸収されやすくする効果を持つ。

フミン酸

中鎖の可溶性炭素化合物。金属イオンをコンプレクシング又はキレート化し、土壌微生物の働きを促すと共に土壌を団粒化する効果を持つ。

フルボ酸

短鎖の可溶性炭素化合物。金属イオンをコンプレクシングまたはキレート化し、土壌微生物の働きを促進し吸収効率を高めます。

リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壌内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されており、マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壌中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステイナブル資材”として期待されています。



Redox技術による成分保護のイラスト

